

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2003-236535 (P2003-236535A)

【公開日】平成 15 年 8 月 26 日 (2003.8.26)

【出願番号】特願 2002-235052 (P2002-235052)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 2 F 1/32

B 0 1 D 19/00

C 0 2 F 1/20

C 0 2 F 1/42

C 0 2 F 1/44

C 0 2 F 9/00

【F I】

C 0 2 F 1/32

B 0 1 D 19/00 F

B 0 1 D 19/00 1 0 1

C 0 2 F 1/20 A

C 0 2 F 1/42 A

C 0 2 F 1/44 J

C 0 2 F 9/00 5 0 2 F

C 0 2 F 9/00 5 0 2 J

C 0 2 F 9/00 5 0 2 N

C 0 2 F 9/00 5 0 2 Z

C 0 2 F 9/00 5 0 3 B

C 0 2 F 9/00 5 0 4 B

C 0 2 F 9/00 5 0 4 C

C 0 2 F 9/00 5 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 8 日 (2005.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

一般的にいえば、本発明で処理対象とする水は、有機質不純物が 1 p p b ~ 1 0 p p m、p H が 7 以上の水である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

本発明に使用される紫外線照射装置としては、主ピークがほぼ 1 8 5 n m にある紫外線を照射可能な低圧あるいは中圧水銀ランプのような紫外線照射装置が用いられる。この紫外線の有機質不純物に対する反応は、有機質不純物の紫外線による直接分解と、ほぼ 1 8 5 n m の紫外線により水から発生したヒドロキシラジカルが酸化剤として有機質不純物に

作用し有機質不純物が酸化分解される間接分解とからなっている。